

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース

2025年5月12日

ファンティック、またも続いたマディのMXGPで、
手堅くシングルフィニッシュを果たす。



ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP はスペインで開催された 2025 年世界選手権モトクロス第 8 戦に参戦。アンドレア＝ボナコルシとグレン＝コルデンホフが総合 7 位、8 位と手堅く結果を残した。同時開催の EMX250 ではルーキーのシモーネ＝マンチーニが総合 5 位を獲得した。

降りしきる雨はMXGPの連戦をまたも難しいものにしたが、レースはとどまりはしない。だが土曜日の予選レースの1コーナーで、恐ろしいアクシデントが発生した。ファンティックのアンドレア＝ボナコルシが、リアタイヤを後続のライダーに引っ掛けられてマシンごと空中に投げ出されたのだ。ほかのバイクにマシンごと惹かれたものの、奇跡的に大きな怪我もないままレースを続けることとなった。とはいえ大きく出遅れることになってしまったが。

一方、その1コーナーの混乱に影響されながらトップ10圏外でスタートしたグレン＝コルデンホフは、何とか9位でレースを終え、13位にブライアン＝ボガスが続いた。ボナコルシは手ひどいクラッシュでマシンも大きく破損しながらも22位に入り、そんな状況にもかかわらずそのスピードは素晴らしいものであった。

日曜日のレース1の前にも豪雨に見舞われたトラックは文字通りのマディコンディション。コルデンホフはファンティックXXF450をうまく発進させたが理想通りというほどでもなく、1コーナーを5位にも届かないポジションで抜けることがやっとという状況だった。だがその後リズムをつかむと、「ザ・ホフ」はマディの中でもペースを上げ、最終的には5位でレースを終了。ボナコルシは土曜日の悪夢から完全によみがえって6位につけ、一方でブライアン＝ボガスは1周目で時間を費やしすぎて13位でレースを終えることとなった。

この日の最終レース、やはりスタートがその行方を決するとあって集中力を高める中、ブライアン＝ボガスはスタートデバイスがゲートが下りる前に外れてしまい取り残される羽目に。同じくコルデンホフも出遅れ、レース1のようなスタートは叶わなかった。一方ボナコルシはまあまあのスタートで10番手前後につけるそこそこのスタートを切ったものの、コースコンディションからなかなか前に行くことができない。それでも何とか7位でフィニッシュし、総合でも7位に入賞した。コルデンホフは12位でレースを終えるのがやっとだったが、総合では8位に。ボガスは結局13位で総合も13位という結果になったのである。



アンドレア=ボナコルシ：まあ結果オーライだよ。予選でひどい目に遭ったことを考えたら、日曜日で6-7位に入れたのは上出来だよ。もちろんこれで良しと考えているわけじゃないけれど、昨日のクラッシュからきっちり切り替えることができたのは重要だよ。レース2ではちょっと痛みも出ていたけれど、それ以外は調子よく走っていたしね。チームのみんなと、ファンティックの力強いサポートには本当に感謝しているんだ。2週間後、また応援してね。



グレン=コルデンホフ：レース2の結果には本当に残念だ。レース1はまあいいとしてもね。そう、レース1ではスタートも悪くなかったし、マディーの中でのペースもつかんでいたから、5位ってのは悪くない。でもレース2は思い通りにスタートできなかったうえ、全力で走ったにもかかわらず全然前に進めなかったんだ。ペースがつかめなくて、フラストレーションがたまったよ。めちゃめちゃ頑張っているのに、前に追いつけない状況だったからね。このコースやコンディションをものにすることができなかったわけだけど、ここでとどまってはられない。来週にもいくつかテストを行って、フランスでいい結果につなげていくよ。

ブライアン=ボガス：いやー、アップダウンの激しい週末だった。確かに先週僕は脱臼したばかりだけど、それはまああまり問題なかったんだ。どんどん良くなってきているしね。でもまたも不運に見舞われてしまったよ。レース1では1周目に2回もマシンを止める羽目になったんだ。多分石がチェーンに絡んでしまったんだと思うんだけど。だいぶ出遅れたけどそれでも13位には入れた。レース2はゲート前でいきなりスタートデバイスが外れちゃって、事実上ビリからのスタートだった。でも何とか13位までは戻せたからね。そういう意味ではフィーリングは悪くないんだ。特にレース2のマシンの仕上がりはよかったから、次に向かっていいヒントができたと思うよ。



ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

シモーネ=マンチーニは引き続いて EMX250 のライダーの中でも最も才能に恵まれていることを証明して見せた。ここ、ルーゴは1年前、マンチーニが125で勝利をつかんだラウンドでもあるのだ。これまでのレースの結果に押されるようにいいスタートを切った17歳の若者は、レース序盤、2位に躍り出たのである。しかしスターティングゲートの異常で赤旗中断。トップ集団にいたマンチーニは集中力を切らすことなくリスタートでもうまく波をつかみ、XXF250とともにすぐに2位の位置まで進む。素晴らしいペースで後続からのアタックをかわしつつ、最後にはギャップを広げる走りで2位を確保したのである。

夜じゅう降り注いだ雨は日曜日の朝のレース2も変わらずひどいコンディションに仕上げていた。マンチーニはスタートこそレース1ほどうまくいかなかったものの2周目にはトップ10まで順位を戻す。だが雨の影響からか、マシントラブルに見舞われたマンチーニは、わずかコーナー2つを残した最終周、リタイアを余儀なくされてしまった。不運に見舞われながらも総合5位の記録を残した週末となったのだ。



シモーネ=マンチーニ：まああまり言うことはないよね。そんなに悪くない週末だと思っていたんだけど、表彰台が本当に目の前から逃げていった感じだからね。残念だけど、もちろんギブアップはしないよ。チームは素晴らしい仕事をしているし、スピードもある。土曜日はいいスタートを切れたし、日曜日もいい追い上げができたからね。マディーの中でマシンをどう乗りこなせるか、という点については十分いい仕事ができたとと思う。レースペースはつかめていたから、また次を狙っていくさ。



FANTIC FACTORY RACING MXGP



FANTIC FACTORY RACING EMX

